

えこっとSAKA

ちよこつとえーこと

マスコットキャラクター
「えこたま」
毎月16日は「ストップ地球温暖化デー」

「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしをちよこつと(少し)だけ、えーこと(良いこと：やさしい)、エコロジカルにしようと、大阪言葉を交えた意味を込めています。

編集・発行/大阪府地球温暖化防止活動推進センター 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 一般財団法人大阪府みどり公社 TEL.06-6266-1271 FAX.06-6266-8665 <http://osaka-midori.jp/>
編集協力・印刷/株式会社ウйлハーツ 〒532-0002 大阪市淀川区東三国4-3-1 グロリア240 2F TEL.06-6399-9500 FAX.06-6399-9550 <http://www.w-hearts.jp/>

数字でひもとく地球温暖化

えこつとナンバー この数、な〜に?

えこつとナンバー研究所助手の南波琴絵です。
このコーナーでは、環境や地球温暖化に関する「数字」を「えこつとナンバー」として取り上げ、地球温暖化防止活動推進センターマスコットキャラクター、「えこたま」からくわしく解説してもらいます!
今回は、この数字! 皆さん、わかります〜?
※ヒント: 府内を走っている環境にやさしいアレです…



答 大阪府内のエコカー保有台数 (2014年度)

- 84万台? 結構走ってるんだー。
- 一般財団法人自動車検査登録情報協会などのデータを元にして、大阪府が算定した2014年度のエコカーの台数だ。同年度の二輪車を除く府内の車両総台数は約349万台だから、エコカーが占める割合は24%になるね。
- エコカーって、そもそもどんな自動車のことを言うの?
- 走行時の排出ガスが少ない、または全く出ない、環境にやさしい自動車のことをエコカーとよんでいて、大阪府では、電気自動車・天然ガス自動車・ハイブリッド自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車・クリーンディーゼル乗用車・超低燃費車の7種類をエコカーの対象車種としているよ。

- エコカーはこれからますます増えていくんやらか?
- 府内のCO2総排出量のうち約14%が運輸部門から排出されていて、そのうちの約9割が自動車からの排出といわれている。低炭素社会の実現には、自動車からの排出をどう抑えていくかが大きな課題なんだ。そこで大阪府は、2009年12月に多様なエコカーの普及を目指す「大阪エコカー普及戦略」を策定し、2020年までに府内の自動車の2台に1台をエコカーとすることを目標にしたよ。
- 2台に1台?!
- エコカーの普及には、充電設備などの燃料供給施設の整備も急務だ。府内では、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車用の充電設備の整備が進んでいて、2014年度末時点で急速充電設備で127基、普通充電設備で443基が整備済みだよ。燃料電池自動車の普及に必要な水素ステーションも、府では官民連携により整備を加速中だ。大阪市内や北大阪地域、空港エリアなど現在7箇所が整備済みで、今後も移動式ステーションの活用も含めて、2017年度中に計9箇所整備することを目標としている。

エコカーの種類

電気自動車 EV ●電気のみで走り、走行時に排出ガスが全く出ない ●非常時の電力源などとして役立つ	燃料電池自動車 FCV ●水素を空気中の酸素と化学反応させて生じた電気を使って、モーターを回転させて走る自動車 ●走行時に排出するのは水のみで、排出ガスを全く出さない
天然ガス自動車 NGV ●都市ガスの原料でもある天然ガスを燃料にして走る自動車 ●CO2排出量が従来のガソリン車と比べ、約20%から30%少ない	クリーンディーゼル乗用車 CD ●平成21年の排出ガス規制に適合した排出ガスのクリーンなディーゼル乗用自動車
ハイブリッド自動車 HV ●エンジンとモーターを組み合わせて走る ●排出ガスが少なく、燃費も良い	超低燃費車 ●従来の自動車と比べて、排出ガスがクリーンで燃費が良い、ガソリン・ディーゼル自動車 ●対象車には左のようなステッカーが貼られている
プラグインハイブリッド自動車 PHV ●外部から充電できるバッテリーを備えたハイブリッド自動車 ●電気で走っている時は、排出ガスを全く出さない	

チェック!

わたしたち一人ひとりの意識も大事だね。
府や市町村主催のエコカーの展示会や試乗会なども開催されているから、参加するのもいいかもね。クルマは大きな買い物だけど、ぜひ環境のこともしっかり考えて選んでほしい。また、大阪には、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車の普及により市場が拡大しているリチウムイオン電池をはじめとする蓄電池周辺の開発を得意としている、高い技術を持った中小企業が多いんだ。地域産業の活性化という側面でも、エコカー普及の取組みは前に進められているよ。

琴絵の結論 エコカー普及には、私たちの意識も大事。
エコカー以外のクルマでも、ゆっくり発達するなどエコドライブを心がけてね!

大阪府 自動車環境対策の情報広場...<http://www.pref.osaka.lg.jp/kotsukankyoo/haigasuu/hiroba.html> 大阪府 自動車環境対策の情報広場 検索



水素でスイスイ! 走り始めた新エネルギー社会 ～「水素社会」に向けた取組みと展望～

水素は、宇宙で最も多く存在する物質です。地球上では、水素単体で存在するのはごくわずかですが、水や炭化物などの化合物として、いたるところで豊富に存在しています。気体のなかで最も軽く、無色・無臭です。この水素を酸素と反応させると、水と電気を生み出します。その際、CO₂などの温室効果ガスや大気汚染物質を排出しないため、新たなクリーンエネルギーとして注目を集めています。

水素から電気をつくるには燃料電池を使います。近年、わが国では、この燃料電池の開発と普及が飛躍的に進み、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「エネファーム」とよばれる発電システムで、排熱を利用してお湯を沸かしたりもしています。さらに注目されているのは、2014年末に、わが国で量産型として世界に先駆けて発売された燃料電池自動車（FCV）のエネルギーとしての活用です。

■ 水素エネルギーの活用

水の電気分解という実験を学生の頃に授業でやって、水素と酸素を取り出したことを記憶されている読者も多いと思います。燃料電池はその逆の化学反応を行うもので、水素と空気中の酸素を反応させて電気をつくり出します。燃料電池はエネルギー効率がが高く、ハイパワーなので省エネルギーに大きく貢献します。

次世代のエコカーとして期待されるFCVは、この燃料電池を搭載し、それによって発電された電気でモーターを回転させて走行します。走行時に排出されるのは水（水蒸気）だけで、CO₂をまったく排出しません。



■ 期待されるFCVの普及

FCVが普及するとCO₂の排出量を大きく削減することができます。水素の製造方法により削減効果は異なりますが、1キロ走行する場合のガソリン車が排出するCO₂が147グラムなのに対し、都市ガスから製造された水素を用いた場合で79グラム、さらに太陽光を用いたアルカリ水電解から水素を製造した場合は14グラムと、大幅なCO₂排出量削減効果が期待されています。

今後の普及のためには、水素供給インフラ網の整備や規制の見直し、社会への啓発活動など、様々な取組みが必要です。

現在、大阪府内にはFCVに水素を供給することができる水素ステーションとよばれる施設が7か所あり、岩谷産業株式会社や大阪ガス株式会社、JXエネルギー株式会社といった企業が運営しています。

■ 情報発信基地も担う水素ステーション

昨年5月、大阪市城東区に岩谷産業が運営する「イワタニ水素ステーション大阪森之宮」がオープンしました。同ステーションではFCVに水素を供給する設備の他に、水素について学習することができる情報発信施設を併設しています。館内には大型スクリーンでの映像放映や水素エネルギーのある暮らしを具現化するジオラマ、水素供給設備に使用されているタンクや安全装置といった機器が展示されており、誰でも自由に見学することが可能です。

さらに、同ステーションの大きな特徴は、工場で生産された水素を運搬、貯蔵する方法として「液化水素」を使用するオフサイト供給方式を採用している点です。

従来、工場で生産された水素をステーションまで輸送するためには、圧縮された水素ガスをボンベにつめ、それをトレーラーに載せて運んでいました。ボンベに充填されている高圧水素ガスは、15～20MPa程度の圧力で約150～200分の1に圧縮されています。一方、水素が液化するとその体積は800分の



液化水素を貯蔵するタンク(左)と水素ディスペンサー



情報発信施設内にあるジオラマ。ステーションを中心に水素社会とはどんなものかを見て感じることができます。



イワタニ水素ステーション大阪森之宮
(画像提供/岩谷産業株式会社)

1にまで小さくなり、同じ容量の容器であれば4倍以上の量を充填できる計算になります。高圧水素トレーラー1回あたりの輸送量が約3,000立方メートルであるのに対し、液化水素では最大12倍の3.6万立方メートルを運搬できることとなるので、その分輸送にかかるコストやCO₂排出量を抑えることが可能です。

■ その他の取組み

同社では地域の学校や府内の企業などと連携した交流会やイベントなども実施しています。近隣の小学校から依頼を受け、出前授業として水素を用いた実験や、燃料電池のしくみ、水素社会についての教育なども行なっています。

■ 水素社会へ向けて

大阪府では、平成28年3月に水素需要拡大に向けた取組みとして「H2Osaka(エイチツーオオサカ)ビジョン」を策定しました。これは、温室効果ガスの削減をはじめ、様々な社会課題の解決に向けて、水素・燃料電池関連分野における今後の取組みの方向性を示したものです。

水素に関する技術は世界に先駆けて日本がリードしている分野です。水素は安全に扱う技術がすでに確立されており、2020年度のオリンピックをひとつの節目として、新しいエネルギー社会のあり方を世界中の人々に紹介できるよう、積極的な取組みが進められています。



情報発信施設は営業時間内であれば、いつでも無料で見学できます

●イワタニ水素ステーション大阪森之宮… 大阪市城東区森之宮1丁目6-102 営業時間：月～金/9時～22時・土/9時～17時 ※日・祝日・年末年始を除く



環境貢献型商品の募集を 行っています!

商品販売で地球温暖化対策への環境貢献

新国民運動「COOL CHOICE」は、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、あらゆる「賢い選択」をしていこうとする取り組みです。

環境貢献型商品は、事業者が、この国民運動の主旨に賛同し、率先して省エネ対策に取り組むとともに、自らが開発・販売する商品についてカーボン・オフセット*を行い、環境貢献型商品として宣言・登録し、販売促進を通じて、「次世代の暮らし方」の賢い選択を提言していくものです。

自社製品を環境貢献型商品として販売しようとお考えの事業者様は、対象商品とその年間販売見込量、商品の生産・流通・販売等において環境に配慮していることがわかる資料をご準備いただき、下記応募先までご相談ください。

*環境にやさしい取組みをしても、どうしても排出される温室効果ガスの排出量について、他の温室効果ガス削減・吸収（省エネ・森林間伐など）に取り組む活動を支援（投資）して、オフセット（埋め合わせ）すること。



応募期間

平成29年
1月31日(火)まで

対象
事業者

①～③の条件を満たす事業者を対象とします。

- ①原則、近畿2府4県(京都府、大阪府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県)で事業活動を行っている中小規模の事業者。
- ②対象商品を、環境貢献型商品であることを明記して販売できる事業者。
※カーボン・オフセットの手続き、販売促進のツール(シール、チラシ等)の作成について、一部事務局が支援します。
- ③商品の年間販売実績を3年間事務局に報告できること。
(事業者の承諾なしに販売実績等が公表されることはありません。)



環境貢献型商品には
このようなラベルが
貼られています。

応募先 **近畿地域 J-クレジット等推進協議会 事務局**

【受付・相談窓口】

全地域：一般財団法人大阪府みどり公社 (大阪府地球温暖化防止活動推進センター)
担当：高見、奥田 TEL: 06-6266-1271 E-Mail: kinkikyogikai@osaka-midori.jp

兵庫県：兵庫県森林組合連合会業務課
担当：川畑、稲月 TEL: 078-341-5082 E-Mail: hyogomori@hyogomori.jp

和歌山県：特定非営利活動法人わかやま環境ネットワーク (和歌山県地球温暖化防止活動推進センター)
担当：臼井(うすい) TEL: 073-499-4734 E-Mail: wenet@vaw.ne.jp

さまざまな環境貢献型商品事例 (順不同)



カネ筒農園

大阪府八尾市久宝寺 5-2-11 TEL.072-999-2224



紅たで加工食品 BENYシリーズ

お刺身などに添えられる紅たで。天然由来の抗菌作用を持つ紅たでを使用して、甘酢(左)とお醤油(中)と美味しく飲めるシロップ(右)が誕生。毎日の食卓に彩りを添える、健康にも環境にもやさしい商品です。

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/kanetutu/>

はっぴいおかん

大阪府羽曳野市伊賀 2-3-3 TEL.072-953-0149



大阪いちじくプリン

大阪産いちじくをふんだんに使用。大阪のおかんと大阪経済法科大学の学生がタグを組み、いちじくの持つ風味を生かしたプリンを開発。懐かしさを感じる甘みのあるプリンに仕上げました。

<http://happy-okan.com/>

亀屋茂廣

大阪市阿倍野区王子町 2-11-12 TEL.06-6623-1031



どら焼き・お好み羊羹・お好みゼリー

昭和11年創業、大阪阿倍野で御菓子製造販売しています。主な商品のうち、どら焼き、お好み羊羹、お好みゼリーを環境貢献型商品として販売しました。また、古くより熊野詣の旅人に愛された亀屋茂廣懐中志る古や草もち、桜もちは、大阪産(もん)名品にも選ばれました。

<http://www.kameya-shigehiro.com/>

匠の街

大阪府東大阪市吉田 2-1-38 TEL.072-964-1117



カレンダー式メモ 元気日めくり365(木製版)

年号の記載がなく、メモは使った日から1年間役立つ。メモ台は国産ヒノキを使用し、気持ち安らぐ香りをお届けします。国内産の森林材を有効活用することで、森林の活性化とCO2吸収に貢献します。

<http://takuminomachi.org>

大地の恵

大阪府羽曳野市誉田 3-25-11 TEL.072-958-8021



大阪産黒にんにく加工食品

「大地の恵」では独自製法による生にんにくの熟成を約1カ月かけて行い、抗酸化力・免疫効果を高めた黒にんにくの加工食品を製造しています。

府内で栽培されたにんにくを使用し、地産地消の環境にも優しい商品です。

<http://www.daichino-kuroninniku.net/>

童(わらべ)

大阪府河内長野市南花台 2-1-2 TEL.0721-60-2112



天見うるおいローション・美容液・石鹸

自然豊かな河内長野の素材 ビワの葉エキス・日本蜜蜂のハチミツ・天野酒大吟醸の4番米ぬかエキスをベースに、お肌の弱い方や乾燥肌の方に特に喜ばれている基礎化粧品を、製造・販売しています。

<http://beauty.geocities.jp/amamiuruoi/>

日本スペリア社

大阪府吹田市江坂町 1-16-15 TEL.06-6380-1121



Bobinレス。

「Bobinレスはんだ」は、はんだを巻く芯(Bobin)を無くした新形状の線はんだです。Bobinを無くしたことにより、プラスチックの廃棄処理時に排出されるCO2を大幅に削減できます。

※2017年1月開催の「第46回ネブコンジャパン」に出展予定(会場:東京ビッグサイト)

<http://nihonsuperior.co.jp/>

前村食品

大阪府高槻市番田 1-50-1 JA全農青果センター内 TEL.072-661-2950



鳥飼なすのしぼ漬け・キムチ漬け・お漬物4点セット

摂津市特産、なにわの伝統野菜である「鳥飼なす」を自家栽培し、昔ながらの変わらめ製法で漬物加工を行い、販売しています。有機野菜・無添加、おいしさにこだわりを持つ同社のお漬物をぜひ毎日の食卓に。

<http://www.maemura.jp/>

カタシモワインフード

大阪府柏原市太平寺 2-7-33 TEL.072-972-0208



堅下本葡萄・合名山メルロ

明治初期、ブドウ栽培に適した大阪平野の堅下を開墾し、大正元年ついにワインの醸造に成功。以来、大阪の食文化に合うワイン造りに邁進してきました。

自社農園では、除草剤を使用せず、減農薬に取り組み、可能な限り有機肥料を使用した栽培を行っています。

今後も大阪のブドウとワイン文化を全国に発信していきます。

<http://www.kashiwara-wine.com/>

大阪府みどり公社

大阪市中央区南本町 2-1-8 TEL.06-6266-1163



生駒山系まるごとハイキングマップ

これ1枚で JR 藤阪駅から、国見山～府民の森(くろんど、ほしだ、むろいけ、くさか、めかた、なるかわ、らくらく登山道、みずのみ園地)～高安山、JR 高井田駅まで縦走できます。1枚当たり130gのCO2 排出量を、大阪府内で創出されたクレジットでオフセットしています。

<http://osaka-midori.jp/>

これらの商品を積極的に購入することで
生産地域の活性化につながったり、
地球環境に貢献できるよ☆



久宝寺こうえんマルシェ(八尾市)でのイベント販売のようす

大阪府環境交流パートナーシップ事業

環境活動に取り組むNPO、企業、学校関係者、ボランティアのみなさまのための

大阪エコ・パートナーシップ交流会 参加者募集

～思いを持ち、その思いを実現する～

《第4回》 開催日時：2017年2月4日(土) 12:30～ (受付開始 12:00)
街から始める 場所：総合生涯学習センター第1研修室 (大阪駅前第2ビル5階)

12:30～13:30
質疑・休憩含む

STEP1 ● 交流セミナー

演題：みつや交流亭へようこそ

昔ながらの商店街で開設10周年をむかえる
市民交流スペースその活動の広がり

講師名：味方 慎一氏 NPO法人みつや交流亭
呼びかけ人・理事



13:30～14:30
質疑・休憩含む

STEP2 ● 人材育成講座

演題：参加と行動につなげる手法

講師名：柏木 宏氏 大阪市立大学大学院
創造都市研究科 教授



14:30～15:30
質疑・休憩含む

STEP3 ● 環境教育研究会

演題：環境教育の伝え方

たとえば、たこ焼きで伝える生物多様性

講師名：石井 実氏 大阪府立大学副学長・理事



15:30～17:00

GROUP WORK ● グループワーク

3つのセミナーごとに講師を交えたグループワーク

テーマを深め、意見交換し、具体的な活動のヒントを見つけてください。
きき足りなかったことを詳しく聞いたり、
具体的な活動のヒントが見つかるかもしれません。

定員はいずれも
50名

グループワーク終了後講師、参加者を交えての名刺交換・交流タイムもございます。

参加申込み方法

申込書に記入の上、メール又はファクシミリにてお申し込みください。申込書は大阪府のホームページからダウンロードできます。

くわしくはホームページで

大阪府パートナーシップ 検索

メールの場合

koryu@e-being.jp

FAXの場合

FAX: 06-6614-1801

受付期間：2月1日(水曜日)まで

永和信用金庫様から
寄附金をいただきました

永和信用金庫さんでは、お客様に地球環境問題を訴え、一人でも多くの方に関心を持ってもらうことを目的に、昨年で9年目となる個人向け定期積金「えいわエコ定期積金」を8月から9月の2か月間募集されました。

この間の契約高の中から36万円を、地球温暖化防止活動に役立てるため、去る11月16日大阪府地球温暖化防止活動推進センターに寄附されました。

寄附されたお金は、センターの活動費用の一部に充当します。



永和信用金庫小林泰理事長(右)と大阪府みどり公社幸田武史理事長

2017年1月3日 大阪府民の森 イベント情報

イベント担当 / (一財)大阪府みどり公社 吉田
TEL.06-6266-1038 FAX.06-6266-8665 mail:ryokka@osaka-midori.jp

詳しくはホームページで
大阪府民の森 検索

ガイドウォーク

[期間] 1/15(日)、2/5(日)、2/19(日)、
3/5(日)、3/19(日)
[時間] 11:00～13:00～の2回
[場所] ちはや園地 [料金] 100円/人
[集合] ちはや星と自然のミュージアム前
[申込] 星と自然のミュージアムで当日受付
ちはや園地の自然とふれあえるガイド
ツアー。季節ごとにガラリと変わる
景色を楽しめます。

巨石巡り

[期間] 1/22(日)
[時間] 9:00～16:00
[場所] くらんど園地
[料金] 500円/人
[集合] 京阪私市駅
[申込] (一財)大阪府みどり公社 HP
苔むした巨石を見ながら旧修験道を
経てくらんど園地から交野山へ。

雪中のアニマルトラックング

[期間] 1/22(日)
[時間] 11:00～15:00
[場所] ちはや園地 [料金] 500円/人
[集合] ちはや星と自然のミュージアム前
[申込] ちはや星と自然のミュージアム
(0721-74-0056)
雪の積もったちはや園地で動物の足跡
を探しにでかけよう!

実験・雪の結晶づくり

[期間] 1/29(日)
[時間] 10:30～14:30
[場所] ちはや園地 [料金] 500円/人
[集合] ちはや星と自然のミュージアム
[申込] ちはや星と自然のミュージアム
(0721-74-0056)
雪の結晶をペットボトルの雪結晶
製造器でつくります。

森の工作会

[期間] 2/5(日)
[時間] 10:30～15:00
[場所] なるかわ園地
[料金] 500円/人
[集合] らくらくセンターハウス
[申込] 当日現地にて受付
桃の節句のお祝いに。
かわい「雛こけし」をつくります。

第5回もっぱら歩こう

[期間] 2/19(日)
[時間] 9:00～16:00
[場所] くさか園地
[料金] 500円/人
[集合] 生駒山駅
[申込] (一財)大阪府みどり公社 HP
生駒の尾根をひたすら歩く! 知られ
ざる名所やスポットも紹介します。
約16キロ健脚向け。

山城巡りハイキング

[期間] 2/26(日)
[時間] 8:00～15:00
[場所] むろいけ園地
[料金] 500円/人
[集合] JR野崎駅
[申込] (一財)大阪府みどり公社 HP
生駒の山中にある山城などのスポット
を巡りながらハイキングを楽しませ
ましょう。

森の工作会

[期間] 3/12(日)
[時間] 10:30～15:00
[場所] なるかわ園地
[料金] 500円/人
[集合] らくらくセンターハウス
[申込] 当日現地にて受付
端午の節句。天高くおよぐ「こいのぼり」
をつくります。

星空観察会

[期間] 3/25(土)
[時間] 19:30～21:00
[場所] ちはや園地 [料金] 700円/人
[集合] ちはや星と自然のミュージアム前
[申込] ちはや星と自然のミュージアム
(0721-74-0056)
金剛山に泊まって、星見台で星座の観
察をしよう! 星雲や惑星を、400mm
の反射望遠鏡で観察できます。

おもしろウォーク

[期間] 3/26(日)
[時間] 10:30～15:00
[場所] ほしだ園地
[料金] 500円/人
[集合] ほしだ園地わんぱく広場
[申込] 当日現地受付
自然の不思議、おどろく、大発見!
五感で体感する楽しい森林ウォーク。



えこっとSAKAにご意見をお寄せください。

ご家庭や会社で取組んでいるエコ活動や、身近に環境貢献型の商品、設備、施設などありましたら教えてください。その他、本紙の感想や取り上げてほしい特集なども、どしどしお寄せください。

ご意見はこちらから <https://goo.gl/aZVbQn>



「えこっとOSAKA」を
購読しませんか?

継続して購読されたい方は、1期(3号:年3回発行)送付分の切手、120円分3枚をご用意いただき、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分から送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。
●あて先 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 一般財団法人大阪府みどり公社 大阪府地球温暖化防止活動推進センター
お近くの市町村(環境担当部署)、消費者生活センター、府立図書館、府民情報プラザなどでも配布しております。

えこっとSAKAは、カーボンオフセット付の環境にやさしい情報紙です。くわしくは… <http://osaka-midori.jp/carbon/pdf/mukouka.pdf>

本紙は1部あたり20.5gのCO2(ライフサイクル)を排出しますが、これを大阪府域において実施の省エネプロジェクトで創出されたクレジットでオフセットしています。

